

# KASELE 2023 Kumamoto

## 第51回九州英語教育学会 熊本研究大会 プログラム



熊本城

【写真提供:熊本城総合事務所】

会 長 中村 典生 (長崎大学)  
大会実行委員長 島谷 浩 (熊本大学)

日 時 : 2023年12月2日(土) 9:40-16:40

会 場 : 熊本大学教育学部 (熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39-1)

ホームページ <https://www.kumamoto-u.ac.jp/>

後 援 : 未定

参加費 : 会員 : 無料, 非会員 : 500円 (資料代として)

### 日 程 (Schedule) :

9:00- 受付 (Reception) 1-A 講義室前

9:40- 9:55 開会行事 (Opening Ceremony) 2-B 講義室

会長挨拶 中村 典生 (長崎大学)

会場校挨拶 藤田 豊 (熊本大学教育学部長・大学院教育学研究科長)

実行委員長挨拶 島谷 浩 (熊本大学)

諸連絡

10:00-12:10 研究発表 (Presentations)

12:10-13:15 昼食 (Lunch Break)

13:15-14:15 研究発表 (Presentations)

14:30-14:50 総会 (Members' Meeting)

15:00-16:30 シンポジウム (Symposium)

16:30-16:40 閉会行事 (Closing Ceremony)

★ 研究発表 Presentations ★

10:00-10:25 Presentation 1

10:35-11:00 Presentation 2

11:10-11:35 Presentation 3

11:45-12:10 Presentation 4

13:15-13:40 Presentation 5

13:50-14:15 Presentation 6

※使用言語 ( Language used in the presentations , L: Language, E: English, J: Japanese )

第一会場 (Presentation Room 1) 1-B 講義室

発表者	発表タイトル	L
1 藤田 恵里子 (日本大学)	英語学習者向け辞書検索行為に対する自己効力感尺度作成の試み	J
2 長友 隆志 (宮崎県立都城西高等学校)	学期間授業アンケートによる自己内省に関する考察	J
3 早淵 はるか (九州産業大学)	英単語が英語学習の意欲に与える影響について—発音と日本語の意味の認識を通して—	J
4 日高 佑郁 (鹿児島大学)	大学生の語彙の自律学習の促進へ向けて: 英語の読解・聴解・視聴解におけるテキストの内容理解度と語彙のカバー率の比較	J
5 須田 拓基 (昭和大学)	メタ言語能力を英語教育に活かす	J
6 塩田 裕明 (久留米大学) 中野 明 (久留米工業高等専門学校) 銚之原 秀平 (九州学院中学校・高等学校)	英語教科書における談話標識の傾向分析	J

第二会場 (Presentation Room 2) 2-A 講義室

発表者	発表タイトル	L
1 福森 一真 (鹿児島大学教育学部附属小学校) 瀧本 哲弘 (鹿児島大学)	メタバース空間を用いた小学校外国語授業の効果についての検証	J
2 河村 昌宏 (小郡市立立石小学校)	意味理解を高める効果的なデジタル教科書活用の一考察	J
3 高波 幸代 (群馬大学)	英語の読み書き能力に関する自信度とスペリングエラーの分類	J
4 瀧本 哲弘 (鹿児島大学) 福森 一真 (鹿児島大学教育学部附属小学校)	小学校英語文字学習導入期における文字慣らし活動の効果—音声から文字へのよりスムーズな移行に向けて—	J
5 清永 克己 (至誠館大学)	NHK ラジオ語学番組から学ぶ指導法	J
6 南津 佳広 (大阪電気通信大学)	「視点」の意識が「訳」に及ぼす影響—通訳訓練の事例から—	J

第三会場 (Presentation Room 3) 2-B 講義室

発表者	発表タイトル	L
1 朝美 淑子 (大分大学) 大下 晴美 (大分大学)	批判的思考能力を育成する教材開発のための理論的枠組み	J
2 武上 富美 (熊本県立大学)	Teaching a critical thinking course in the university English curriculum: Strategies and challenges	E
3 Viorel Ristea (熊本県立大学)	Visual elicitation as a way of facilitating creative reflection in low-proficiency L2 learners	E
4 細川 博文 (福岡女学院大学)	Not code but mode switching from Japanese to English: Enhancing English interactional proficiency among Japanese learners of English	E

5	小川 広洋 (熊本県立大学大学院生)	Constructing a transfer-appropriate virtual environment for second language acquisition	E
6	Tomek Ziembra (大分工業高等専門学校) 朝美 淑子 (大分大学)	Reopening borders: Analyzing students' satisfaction to a return of study abroad for rural technical colleges	E

#### 第四会場 (Presentation Room 4) 2-D 講義室

	発表者	発表タイトル	L
1	飯村 英樹 (群馬県立女子大学)	再現を目的とする活動における誤り分析	J
2	浮田 智也 (宇部工業高等専門学校) 岡田 美鈴 (宇部工業高等専門学校)	3つのタスク活動の実践～SVOCと仮定法の使用を目指して～	J
3	鬼塚 加奈子 (熊本県立第一高等学校)	フォーカス・オン・フォームを取り入れた文法の学習効果	J
4	興津 紀子 (宮崎大学)	中等教育段階の技能統合型タスクにおける方略使用の実態	J
5	深澤 真 (琉球大学)	中学校における英語テストの現状:スピーキングの評価に焦点を当てて	J
6	武末 俊光 (熊本県立大学大学院生)	中学校英語学習者向けコロケーション作成の取り組み	J

#### 第五会場 (Presentation Room 5) 3-C 講義室

	発表者	発表タイトル	L
1	麻生 雄治 (大分大学)	英語授業における「やり取り」とは何か:その定義と解釈をめぐって	J
2	入江 有希 (鹿児島市立長田中学校) 石原 知英 (鹿児島大学)	話すことに対する積極性を育てる即興的なやり取りの帯活動 —コミュニケーション・ストラテジーに注目して—	J
3	石橋 俊 (佐賀県立佐賀東高等学校)	CLILとSDGs活動を通じた英語力と社会性の育成 —Output体験を最大限に生かす—	J
4	白井 龍馬 (久留米工業高等専門学校) 徳永 正尚 (久留米工業高等専門学校)	高専におけるCLILとNon-CLILの実践報告と学習効果の比較	J
5	山城 仁 (東京学芸大学附属世田谷中学校)	中学生を対象としたライティング方略の習熟を促す指導手続きの開発:相互評価による形成的アセスメントを位置づけた実践事例	J
6	山内 祥之 (沖縄工業高等専門学校)	ハイブリッド型英作文指導の可能性	J

#### ★総会★ (14:30-14:50) 2-B 講義室

#### ★シンポジウム★ (15:00-16:30) 2-B 講義室

テーマ:「学習意欲を高め「やり取り」を活発にする指導と評価」

パネリスト 和田 彩(熊本市立御幸小学校)  
財部 裕一郎(熊本大学教育学部附属中学校)  
川元 隆一(熊本県立鹿本高等学校)  
コーディネーター 折田 充(熊本大学)

#### ○概要

本シンポジウムは、学習指導要領における小学校「外国語活動(英語)」・「外国語科(英語)」、中学校「外国語(英語)」、そして高等学校「外国語(英語)」の「話すこと[やり取り]」の指導と評価に焦点を当てます。3人のパネリストからの実践報告の後、フロアとの質疑応答などを通して「やり取り」について学び合う機会にできればと思います。各パネリストが予定している発表概要は次の通りです。

### ・「自分の考えや思いを伝えたいような授業づくりの工夫」(小学校)

単元を見通した授業構成を心がけています。また、児童1人1台のタブレットを「やり取り」を助けるツールとして活用しています。小学3年生に、日本に来たばかりのALTの自己紹介を聞いたことをきっかけに、友だちとやり取りしながら自己紹介カードを作ってもらいました。活動の途中に、子供たちが自らの課題に気づく「振り返り」を取り入れました。学習の最後に、1人ずつALTに自己紹介しながらカードをプレゼントしました。当日は6年生などでの実践も紹介できればと思います。

### ・「見方・考え方を働かせてやり取りする生徒の育成—主体的な学びを促す指導を通して—」(中学校)

「主体的・対話的で深い学び」の実現を念頭に、学びの成果を実感できる場面として海外の中学生などとオンラインによるやり取りの機会を設けています。また、生徒が既習事項を活用でき、英語の質を高める「中間指導」を工夫しています。中学3年生の授業で、環境問題を取り上げました。熊本市のプラスチックごみ問題について、生徒たちは動画を作成しInstagramなどで発信し、Zoomを使ってインドネシアの中学生と意見交換会を持ちました。シンポジウムでは、中学1年生などでの実践も報告したいと思います。

### ・「国際対話力を高めるためのプログラム開発と授業」(高校)

生徒が意欲的に英語を学び、伸びていく土台となる学習集団作りを心がけています。Small Talkで始める授業、そして反転授業を可能にするICTの活用によって「やり取り」中心の授業を実践しています。「英語コミュニケーションI」などでは、技能統合型の授業を通して生徒がバランスよく5領域を伸ばしていく指導に取り組んでいます。シンポジウムでは、本校グローバル探究コースの独自プログラム「英語探求」におけるプレゼンテーション(1年生)やディベート(2年生)などを紹介し、プログラムの評価や成果を報告する予定です。

### ★閉会行事★ (16:30-16:40) 2-B 講義室

### ★情報交換会★ (18:30-20:30) \*熊本市内、5,000円程度

参加希望者に場所等の詳細を直接電子メールでお知らせします。

### 交通アクセス <<https://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjohou>>

#### ■バス

JR 熊本駅から	(2番のりば) 産交バス等:楠団地、光の森産交行き等(子飼経由)「熊本大学前」下車
JR 上熊本駅から	(1番のりば) 都市バス:第一環状線、昭和町線(子飼橋経由)「子飼橋」下車徒歩10分
JR 竜田口駅から	産交バス:桜町バスターミナル行き「熊本大学前」下車
桜町バスターミナルから	(16番のりば、E) 産交バス:楠団地、光の森産交行き等(子飼経由)「熊本大学前」下車

#### ■自家用車

キャンパス内の駐車は、有料となっています。(1時間超え4時間以内 500円、4時間超え24時間以内 1,000円)

### 大会実行委員

島谷 浩 (熊本大学・大会実行委員長)  
折田 充 (熊本大学)  
原田 尚孝 (熊本信愛女学院中学・高等学校)  
後藤 隆昭 (九州看護福祉大学)  
岡崎 伸一 (熊本大学)  
松本 知子 (熊本大学)

### \*九州英語教育学会事務局 \*

麻生 雄治(Yuji Aso, KASELE Office Coordinator)

〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地 大分大学教育学部 麻生雄治研究室

TEL 097-554-7949

Email [office.kasele@gmail.com](mailto:office.kasele@gmail.com)